

**坂田 慶介**

---

**差出人:** [REDACTED]  
**送信日時:** 2023年3月23日木曜日 17:31  
**宛先:** 梅田 明; 名古屋城 加治屋  
**CC:** [REDACTED]; [REDACTED]  
**件名:** 市民アンケート調査票、説明資料  
**添付ファイル:** 3討論会参加申込書\_230323\_無害化済.docx; 2アンケート調査票\_230323\_無害化済.docx; 1アンケートお願い文\_230323\_無害化済.docx; 説明資料230323\_無害化済.pdf

添付ファイルが無害化されました

無害化前のファイルが必要な場合は仮想デスクトップにログインしてウェブメールを確認してください

-----

名古屋城総合事務所 梅田様、加治屋様

お世話になります。

調査票、説明資料をお送りします。

--

-----  
(株)安井建築設計事務所 [REDACTED]  
TEL:052-961-1861 FAX:052-951-1966  
携帯: [REDACTED]  
MAIL: [REDACTED]  
-----

## 市民討論会に参加を希望される方へ

### 名古屋城バリアフリーに関する市民討論会

日時：令和5年5月27日（土） 00:00～00:00（予定）

場所：（仮）名古屋国際センターホール（別棟）（名古屋市中村区那古野1丁目）

内容：名古屋城バリアフリーに関する資料および市民アンケートの説明をした上で討論会を実施

定員：100名程度

上記のように市民討論会を開催します。参加ご希望の方は、下の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、アンケート調査票と一緒に同封の返信用封筒にて、**5月 日（ ）【消印有効】**までにご投函ください。

参加申込書を返信いただいた方が定員を超過した場合は、抽選させていただきます。抽選の結果は参加申込書をいただいた方全員にご連絡いたします。当日参加いただける方には、プログラムや会場案内などの資料も同封させていただきます。ぜひ、ご参加ください。

### 参加申込書

（ふりがな） おなまえ	
ご住所 （郵便物が届くよう 番地、建物名・号室など 全てご記入ください）	〒      — 名古屋市                      区
ご職業	1 会社員・公務員（フルタイム）                      2  自営・自由業 3 アルバイト・パート                                      4  家事専業 5 学生    6  無職 7 その他（    ）
参加動機	
これまでに市民参加型の会議に参加されたことがありますか。	1 名古屋城に関連した会議に参加したことがある 参加した時のテーマ（    ） 2 名古屋城関連以外の会議に参加したことがある 参加した時のテーマ（    ） 3 今回がはじめて    4  わからない
参加にあたり、主催者に配慮してほしいことがございましたら、ご記入ください。（任意）	

# 調 査 票

～ご記入にあたってのお願い～

◆アンケートは**必ず封筒の宛名のご本人**がご回答ください。

(ご本人が記入できない時は、身近な方がご本人から聞き取り、ご記入ください)

◆同封されている「名古屋城天守バリアフリー説明資料」をご覧ください、ご記入ください。

◆調査票及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。  
また、切手を貼る必要もございません。

◆回答結果は、統計的な数値として集計する以外には使用しませんので、ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。

◆ご記入いただきました**調査票**を同封の返信用封筒に入れ、

**5月 日( )**までに、郵便ポストにご投函ください。

問1 過去に、何回名古屋城を訪れましたか？(1つに○)

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1 1回           | 2 2回     |
| 3 3回以上(年__回程度) | 4 訪れていない |

問2 天守についてお聞きします。名古屋市が天守の木造復元を進めていることをご存じですか？(1つに○)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 内容もよく知っている | 2 進めていることは知っている |
| 3 知らなかった     | 4 興味がない         |

問3 今まで、名古屋市が主催した名古屋城天守閣整備に対するタウンミーティングや市民説明会にご参加いただいたことがありますか？(1つに○)

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 毎年参加している  | 2 1回以上参加したことがある |
| 3 参加したことがない |                 |

以下の問4～8は、説明資料を読んでいただいたうえでご回答ください

問4 天守が木造復元されたら最上階まで登りたいと思いますか。(1つに○)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 ぜひ登りたい            | 2 どちらかといえば登りたい |
| 3 どちらかといえば登りたいと思わない | 4 登りたいと思わない    |
| 5 (身体的理由などで)登れない    |                |

問5 歴史的建造物の内部に公募により選定した昇降技術を設置することについてどう思いますか。(1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 設置することに賛成 | 2 設置することに反対 |
| 3 どちらでもない   |             |

問6 問5で1(設置することに賛成)と回答した人におうかがいします。公募により選定された昇降技術について、復元する木造天守の何階まで設置することがよいとお考えですか。資料12～15ページを見ながらご回答ください。(1つに○)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1 1階まで(城から外が見える)     | 2 2階まで(月山松の梁がある) |
| 3 3階まで(破風の間がある)      | 4 4階まで(破風の間がある)  |
| 5 5階まで(小組格子天井のある最上階) | 6 わからない・その他      |

問7 問5および問6のご回答にかかわらず、5階(最上階)までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。(自由回答)

--

問8 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。資料16ページを参考にしてください。(自由回答)

--

## あなたご自身について

問9 あなたの年代をお答えください。(1つに○)

- |       |         |          |       |       |
|-------|---------|----------|-------|-------|
| 1 10代 | 2 20代   | 3 30代    | 4 40代 | 5 50代 |
| 6 60代 | 7 70代以上 | 8 答えたくない |       |       |

問10 身体障害や内部障害等の有無についてお答えください。(複数回答)

- |                   |                       |          |  |
|-------------------|-----------------------|----------|--|
| 1 特にない            |                       |          |  |
| 2 肢体不自由あり(車いすを使用) | 3 肢体不自由あり(歩行困難・杖使用など) |          |  |
| 4 視覚障害あり          | 5 聴覚障害あり              | 6 言語障害あり |  |
| 7 内部障害あり          | 8 知的障害あり              | 9 精神障害あり |  |
| 10 発達障害あり         | 11 高次脳機能障害あり          | 12 難病患者  |  |
| 13 その他( )         | 14 答えたくない             |          |  |

問11 あなたの国籍についてお答えください。(1つに○)

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1 日本国籍である | 2 外国籍である(国籍: ) |
| 3 答えたくない  |                |

【名古屋城について、ご意見等ご自由にお書きください】

ありがとうございました。

ご記入いただきました本冊子を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

---

## 名古屋城バリアフリーに関する アンケートへのご協力のお願い

調査票にご記入の上、5月 日（ ）までにご投函ください。

---

日ごろは、市政にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

名古屋城天守閣の整備におきましては、木造天守の意義として、特別史跡名古屋城跡の本質的価値の向上と理解の促進を掲げており、「昭和実測図」をはじめ先人たちが遺してくれた豊富な史資料により木造復元を進めています。調査研究に基づく「史実に忠実な復元」を確保したうえで、バリアフリーへの対応が課題となっていました。昨年度、「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、最優秀者が決定したところです。

今回のアンケートは、史実に忠実に木造復元をする場合に、実際に昇降技術をどこまで設置するのか、市民のみなさまの意識を確認し、名古屋市の方針を打ち出すために実施するものです。また、希望者のみなさまを対象に市民討論会を行い、より理解を深めた上での意見もお伺いしたいと考えております。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

▼アンケートについてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

名古屋城事務所           ：〇〇

電話：(052) -    / FAX：(052) -

問合せ時間：月曜日から金曜日の午前8時45分から午後5時30分まで（祝日を除く）

※FAX は常時受け付けておりますが、お電話でのお問い合わせにつきましては上記時間内とさせていただきますので、ご了承ください。

# 「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」

【5000人アンケート用】



【数百年後の名古屋城本丸の姿】

# 目次

1. 趣旨
2. 名古屋城天守木造復元の概要
  - ・ ガラス乾板写真の往時の姿と将来の完成予想図
  - ・ 残された豊富な史資料
  - ・ 名古屋城天守の歩みと木造復元の経緯
  - ・ 現天守閣と木造天守の違い
  - ・ 復元天守の階段
3. 最優秀昇降技術の概要
  - ・ 昇降技術に関する公募の概要
  - ・ 最優秀者の技術紹介
4. 木造天守でのバリアフリー対応
  - ・ 小天守1階、大天守地階まで
5. 木造天守へ設置した場合の観覧計画
  - ・ 大天守1階までの場合
  - ・ 大天守5階までの想定
6. 名古屋城内のバリアフリーの現状

## 1. 趣旨

現在、名古屋市は名古屋城天守を木造復元する名古屋城天守閣整備事業を進めております。近世城郭の中心的建物であった天守を、残された遺構の詳細な調査、豊富に残された史資料に基づき、忠実に再現するものです。その意義は特別史跡名古屋城跡の本質的価値の向上と理解の促進です。昭和5年(1930年)に旧国宝1号に指定された価値ある文化財を、数百年を超えて存続する名古屋市民の誇りと言える名古屋城天守を実現していくことを目指しております。

その一方で、バリアフリーへの対応をどのように行っていくかは大きな課題であることから、2018年(平成30年)の「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」に基づき検討を進めてまいりました。

昨年度（令和4年度）「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、木造の柱・梁に影響を与えない、かつ、取り外し可能な技術を国際的に募集しました。そして、最優秀者を決定したところです。史実に忠実な復元とバリアフリーの両立については引き続き検討し、バリアフリー環境が向上を目指していくことを考えております。

今回のアンケートは選定された昇降技術の詳細と木造天守に設置された場合にどのようなになるのか等の情報をお知らせし、みなさまのご意見をお伺いするものです。

趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようお願いいたします。

## 2. 名古屋城天守木造復元の概要

- ガラス乾板写真の往時の姿と将来の完成予想図

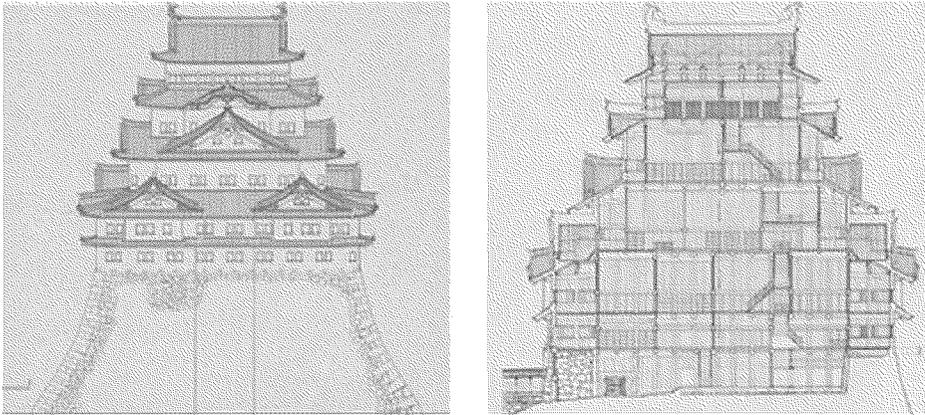


300年以上存続し国宝第1号に  
指定された名古屋城天守の姿

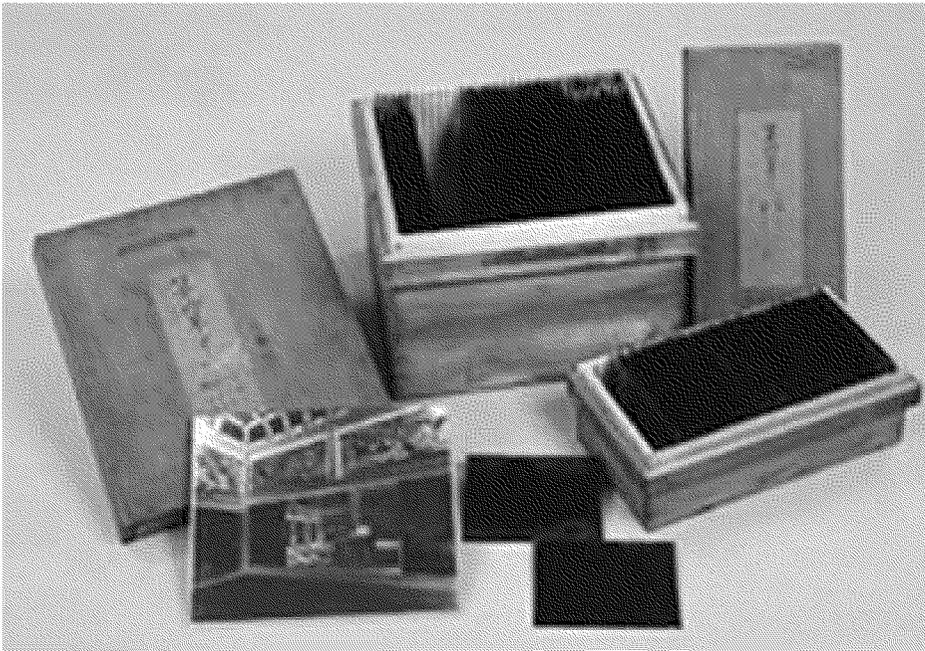


豊富な資料と最新の技術により  
木造復元された名古屋城天守の姿  
(竹中工務店作成完成予想図)

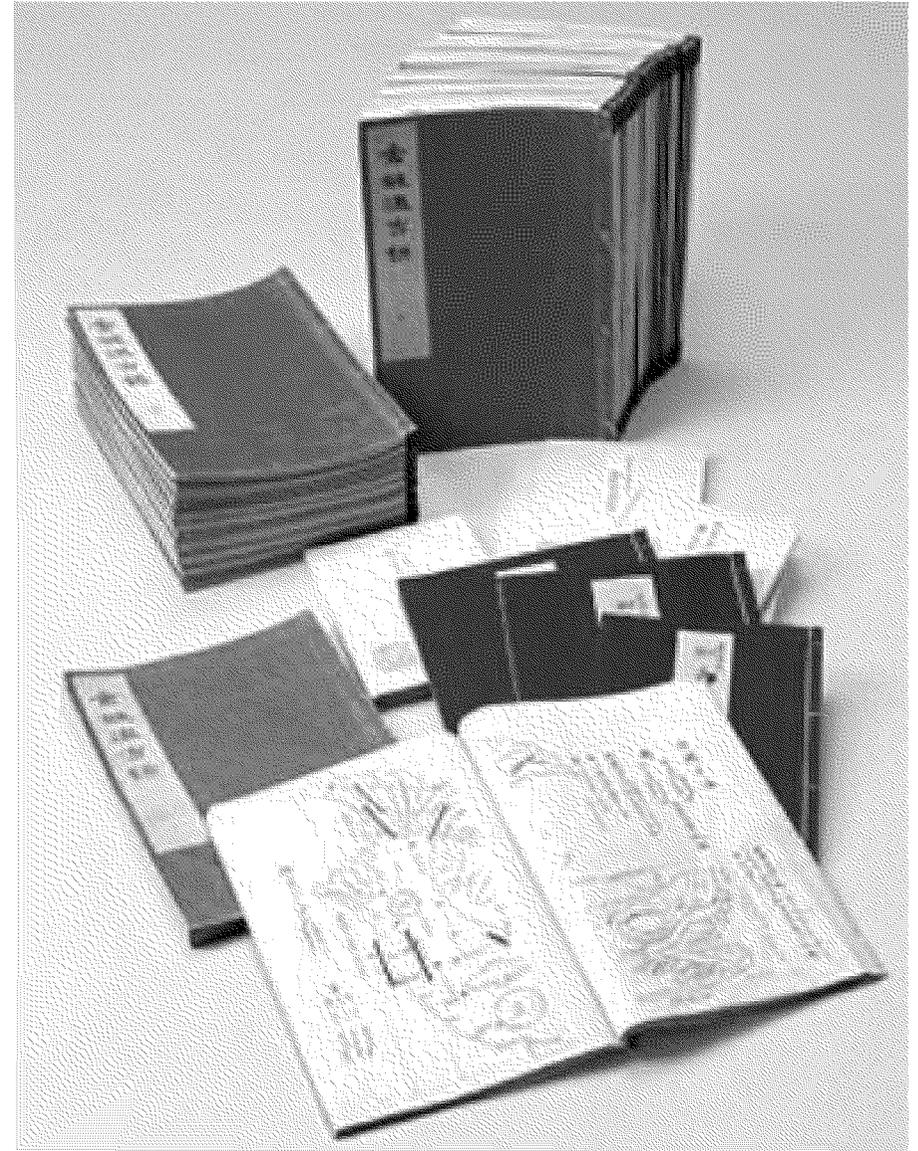
• 残された豊富な史資料



昭和実測図



ガラス乾板写真



金城温故録

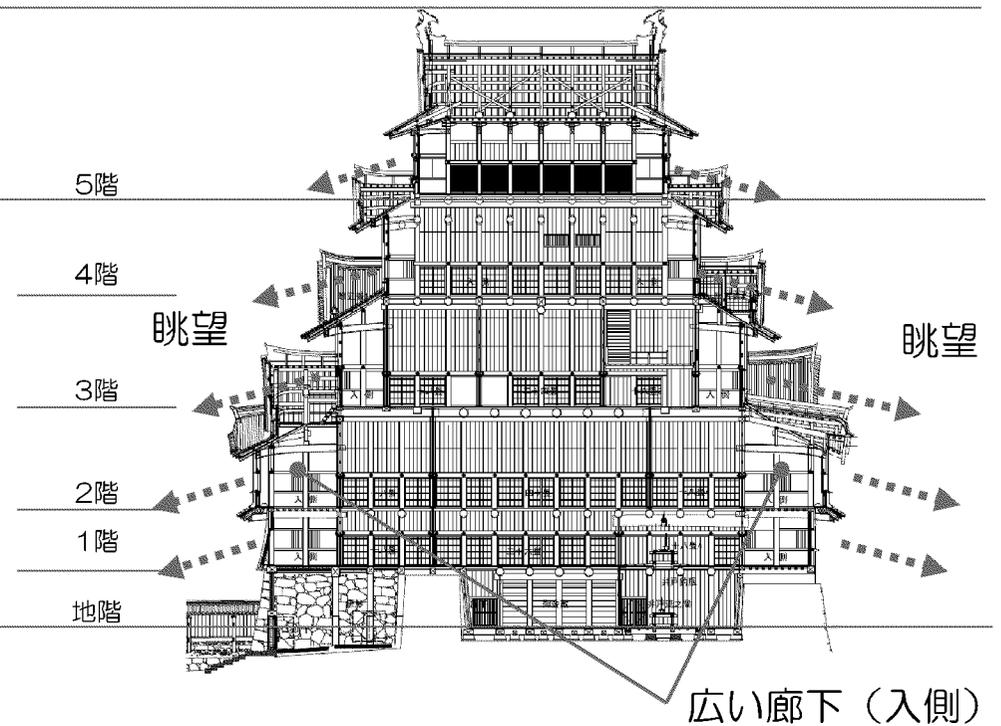
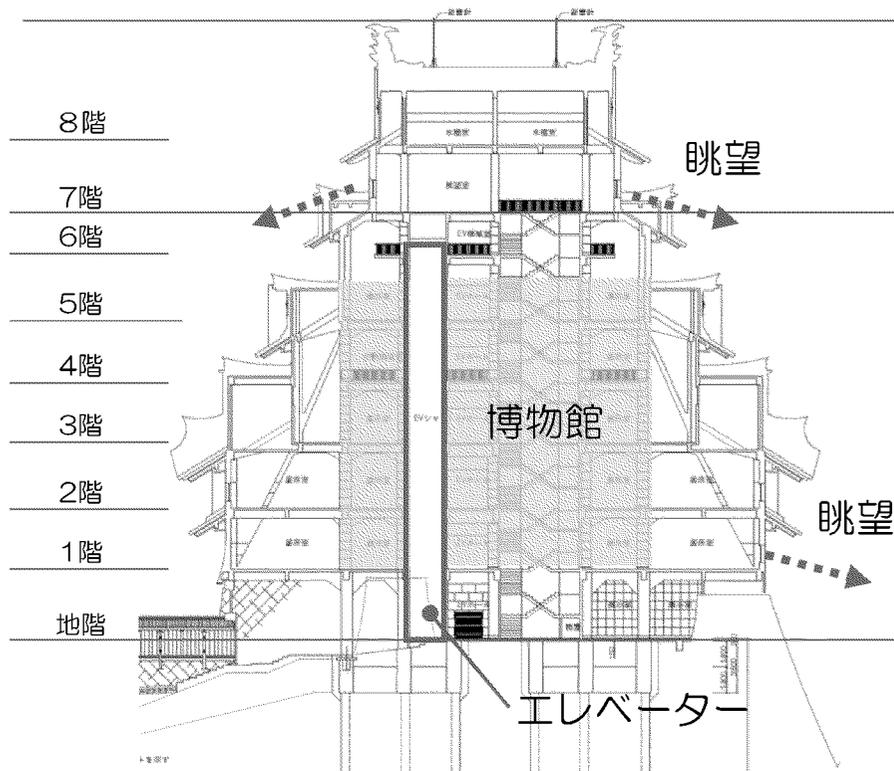
・名古屋城天守の歩みと木造復元事業の進捗

時 期		内 容
慶長 <b>15</b> 年	<b>1610</b> 年	徳川家康の命により築城に着手
慶長 <b>17</b> 年	<b>1612</b> 年	天守が完成
明治 <b>5</b> 年	<b>1872</b> 年	陸軍省の所管となる
明治 <b>26</b> 年	<b>1893</b> 年	宮内省に移管され名古屋離宮となる
昭和 <b>5</b> 年	<b>1930</b> 年	宮内省から名古屋市に名古屋城を下賜 天守等が城郭として国宝第 <b>1</b> 号に指定（旧国宝）
昭和 <b>7</b> 年	<b>1932</b> 年	名古屋城の実測調査開始（昭和 <b>27</b> 年に完成）
昭和 <b>20</b> 年	<b>1945</b> 年	第二次大戦中の空襲により焼失
昭和 <b>34</b> 年	<b>1959</b> 年	鉄筋コンクリート造天守閣再建
平成 <b>21</b> 年	<b>2009</b> 年	本丸御殿復元に着手
平成 <b>27</b> 年	<b>2015</b> 年	名古屋城天守閣整備事業公募型プロポーザル実施
平成 <b>29</b> 年	<b>2017</b> 年	名古屋城天守木造復元事業着手
平成 <b>30</b> 年	<b>2018</b> 年	本丸御殿が完成 現天守閣が耐震性能不足にて入場禁止
令和 <b>4</b> 年	<b>2022</b> 年	名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募実施

・ 現天守閣と木造天守の違い

現天守閣  
(鉄骨鉄筋コンクリート造)

復元天守  
(木造)



- ・ 機能は博物館
- ・ 眺望は1階北側、東側と7階から
- ・ 地階から5階までエレベーター

- ・ 往時の姿を復元した内部空間
- ・ 建物外側に広い廊下
- ・ 1～5階から眺望

- ・復元天守の階段

地階から5階（最上階）まで階段の段数126段



「階段体験館」で作成された  
実物大模型の階段



最上階の階段  
(ガラス写真乾板)

### 3. 昇降技術の概要

#### ・昇降技術に関する公募の概要

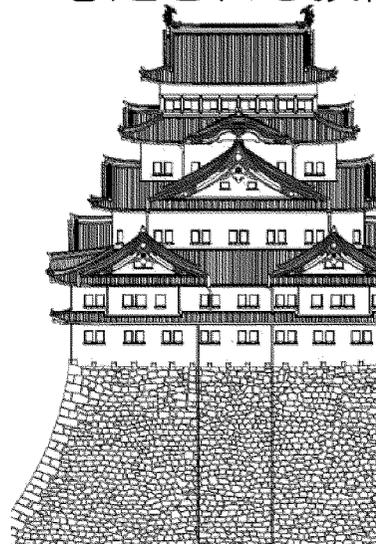
##### 背景

- ・ 名古屋城現天守閣は1959年再建以来老朽化など課題が顕在化
- ・ 「名古屋城天守閣復元事業」で史実に忠実な復元により名古屋城の本質的価値の理解促進、観光面の魅力向上が可能
- ・ 障害のある人もない人も共に文化財を楽しめるバリアフリーが重要

##### 目的

- ・ 史実に忠実に復元する木造天守に誰もが昇降できるように、昇降技術を世界中から募り実用化する
- ・ 史実に忠実な復元とバリアフリーの両立を目指し、先進的なバリアフリー技術を名古屋から発信・展開する

##### 想定される技術



5階	技術例： ・ 大天守の内部を垂直に昇降する技術 ・ 大天守の階段を直接昇降する技術 ・ 外部から直接大天守1階以上に入城できる技術
4階	
3階	
2階	
1階	
地階	等幅広く技術を募集
地上	地上から大天守地階までのバリアフリーは木造天守復元の設計・施工者にて対応予定

#### 主要要求水準

区分		主な内容
バリアフリー	最低要求水準	・ 少なくとも天守1階に昇降ができること
	加点要求水準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用対象者の範囲が広いこと</li> <li>・ 誰もが簡単に使えること</li> <li>・ 可能な限り健常者の移動と同じような時間で移動できること</li> <li>・ 多人数による反復した利用が可能であること</li> <li>・ 可能な限り健常者の移動を妨げず、共存した経路であること</li> <li>・ 大天守のより上層階まであがれること</li> <li>・ 怖い思いをしなくて利用できること</li> <li>・ 他人の助けを借りることなく昇降ができること</li> </ul>
史実に忠実	最低要求水準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柱や梁などの主架構を変更しないこと</li> <li>・ 取り外すことにより、史実に忠実な状態に戻すことができる設置手法とすること</li> </ul>
	加点要求水準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可能な限り木造天守の外観や内観を損なわないこと</li> <li>・ 木造天守に使用されている木材を保護すること</li> </ul>

# 最優秀者の技術紹介

最優秀者

株式会社MHIEアロスペースプロダクション

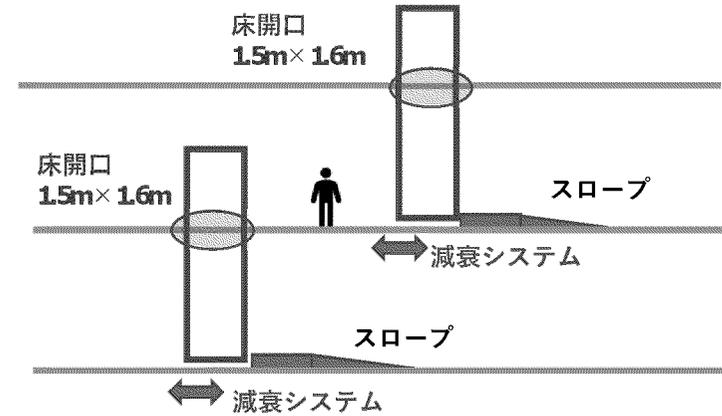
木造建物の地震の揺れに対応する1階ずつ昇降する装置

定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能

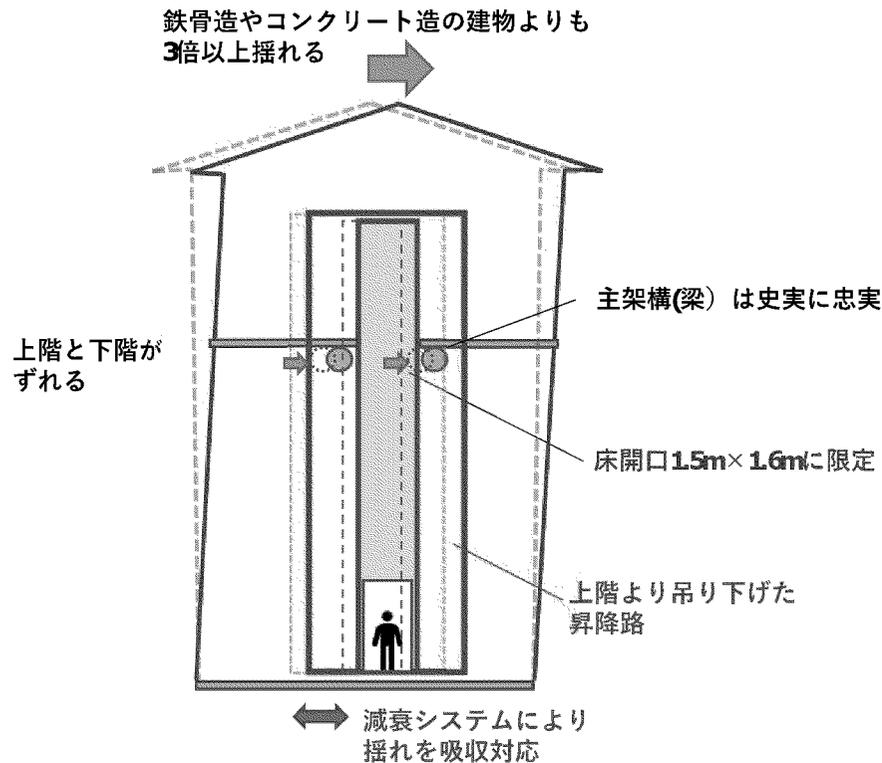
木造の柱・梁を取り除かずに設置可能

取り外して、床板を取り付けるだけで昔の姿に戻すことが可能

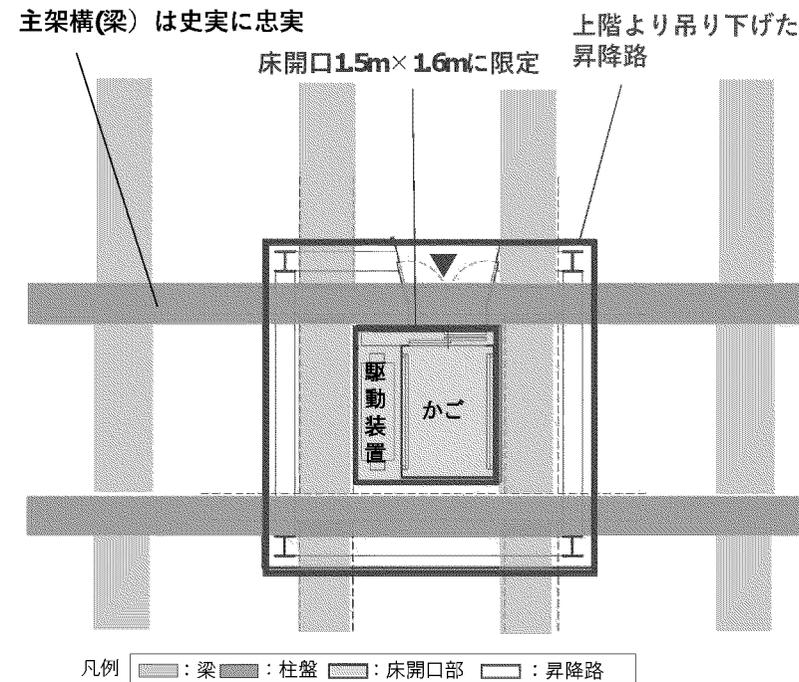
船舶に使用している技術を名古屋城天守に設置できるよう開発



## 1階ずつ昇降する技術の考え



地震による木造建物の変形への対応

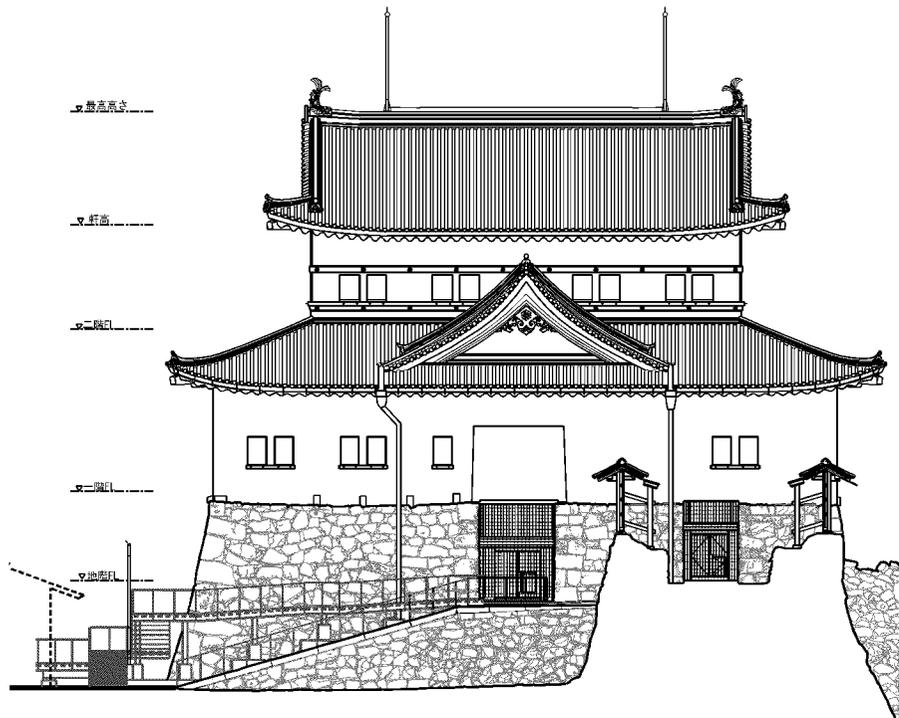


柱・梁に影響しない昇降装置設置の考え

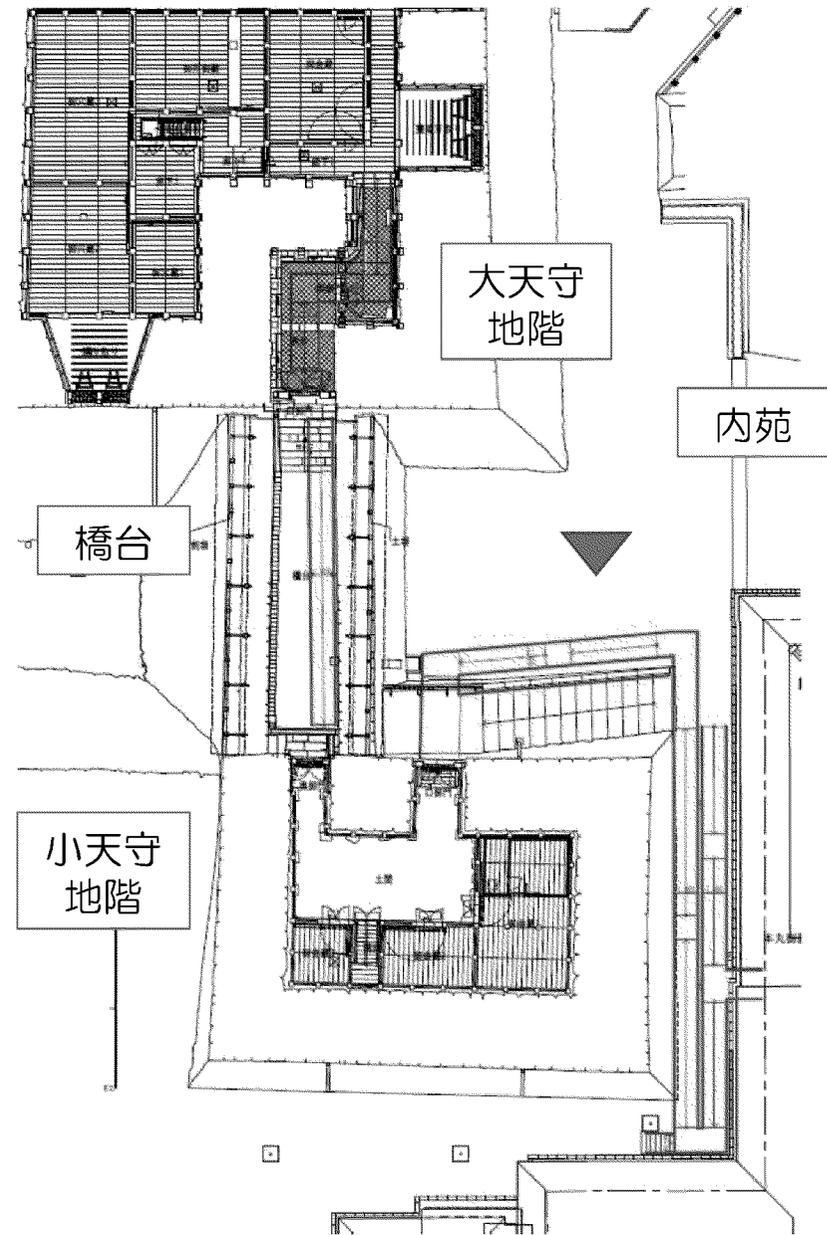
#### 4. 木造天守でのバリアフリー対応 ・小天守1階、大天守地階まで

内苑（地上）より小天守地階を通り、橋台から大天守地階までスロープ設置

（名古屋市障がい者団体からの意見を踏まえた対応）

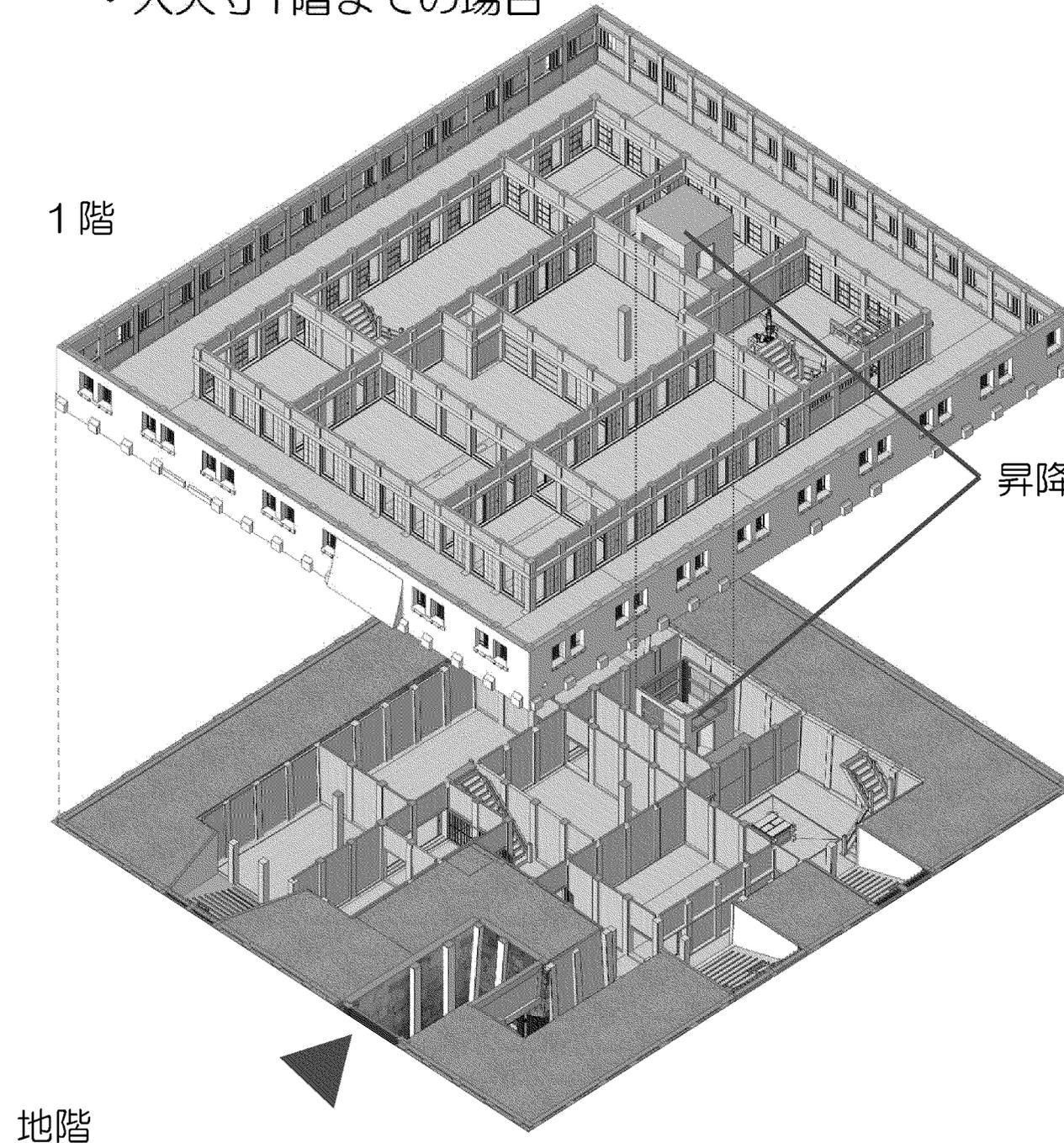


小天守を北面より見る（▼より見る）

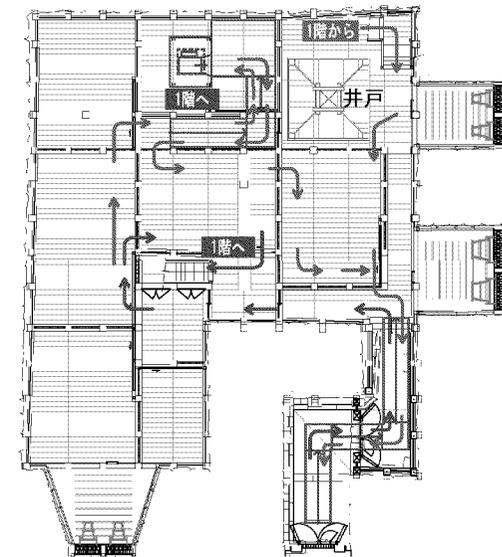
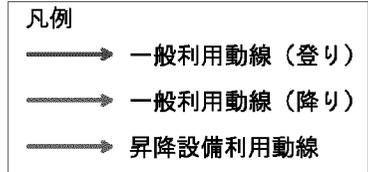


内苑から大天守地階までのスロープ

## 5. 木造天守へ設置した場合の観覧計画 ・大天守1階までの場合

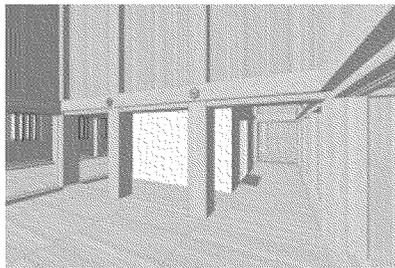


昇降装置の姿や設置位置は今後の開発により変わる可能性があります。現段階にて想定されるイメージとなります。



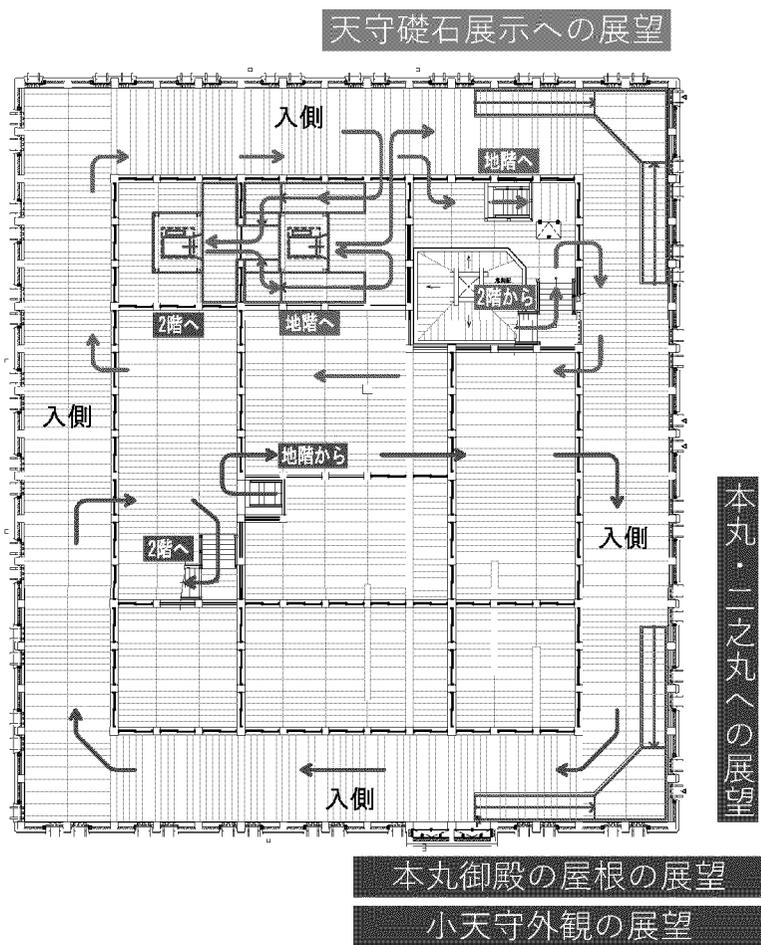
地階 観覧計画

• 大天守5階までの想定

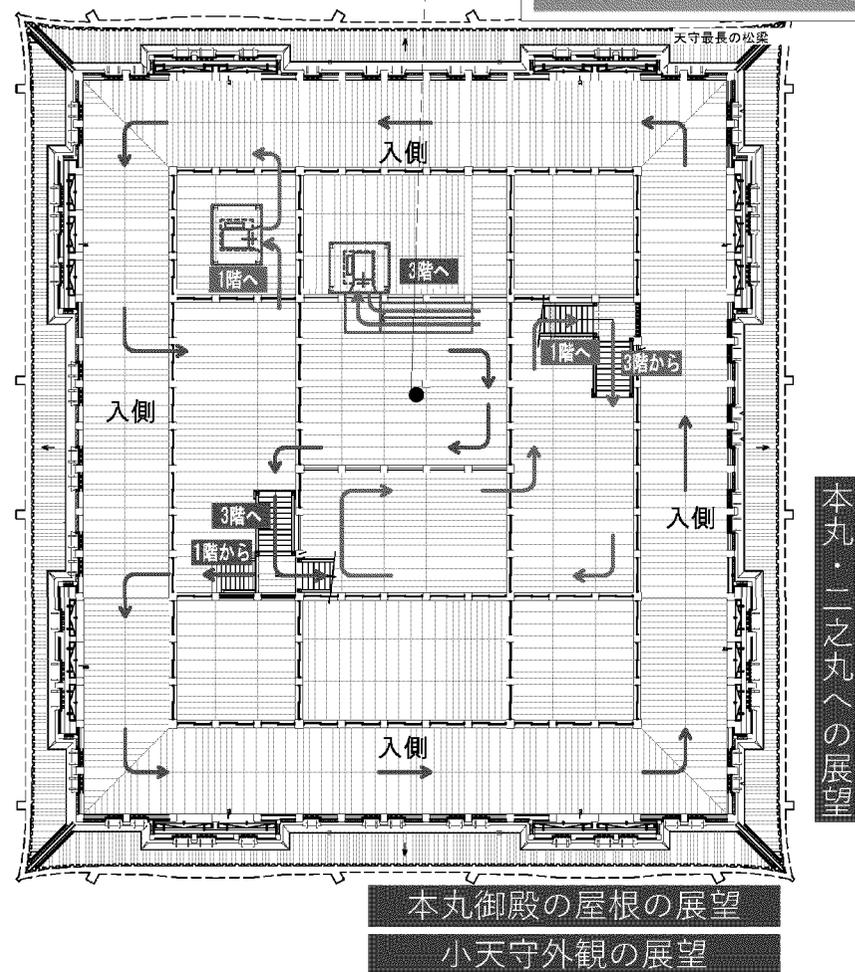


四十畳の間から見た昇降装置

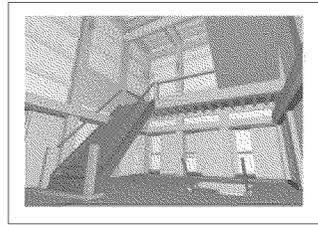
昇降装置の姿や設置位置は今後の開発により変わる可能性があります。現段階にて想定されるイメージとなります。



1階 観覧計画

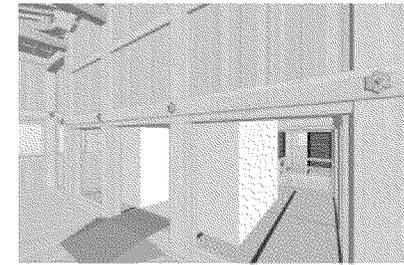


2階 観覧計画

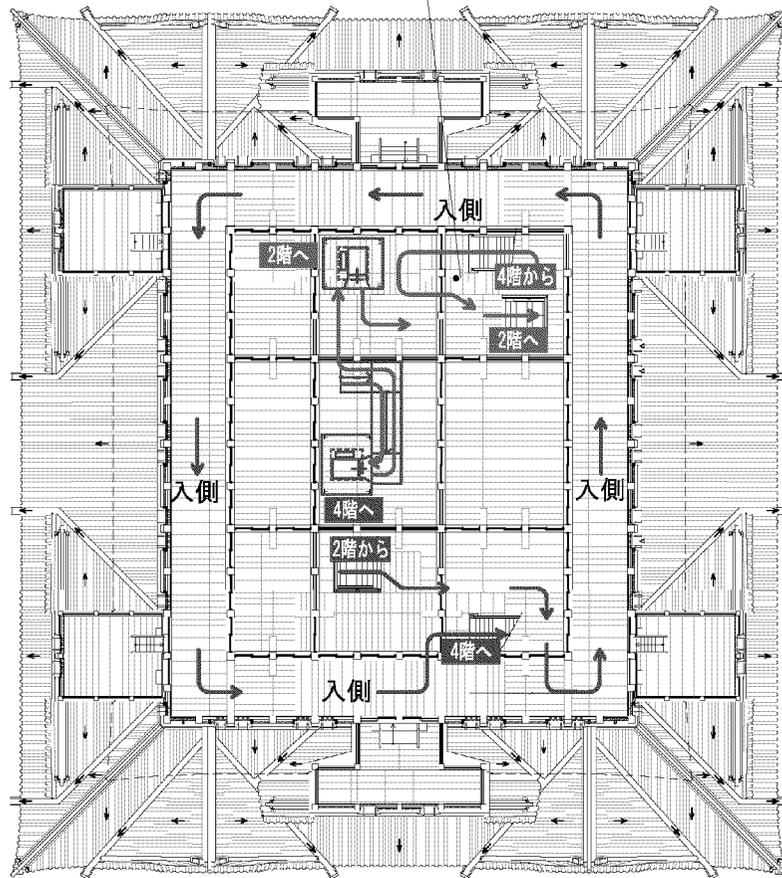


表階段

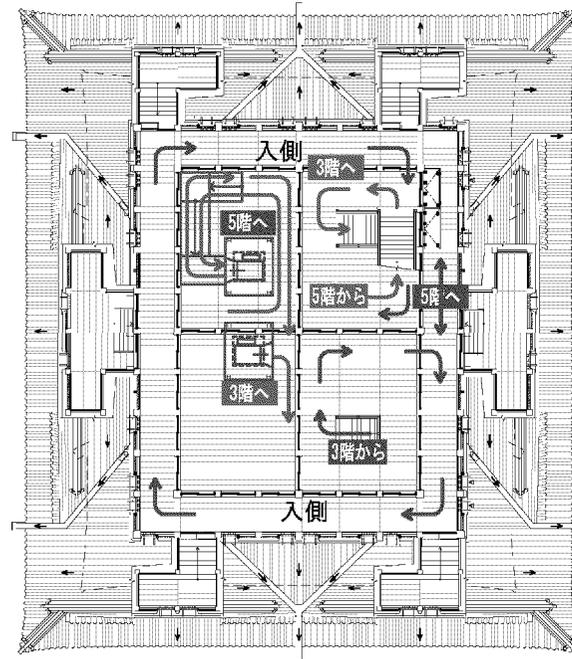
昇降装置の姿や設置位置は今後の開発により変わる可能性があります。現段階にて想定されるイメージとなります。



三之間に設置された昇降装置



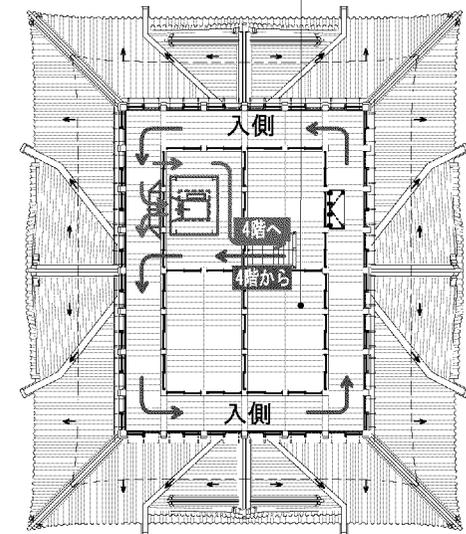
3階 観覧計画



4階 観覧計画



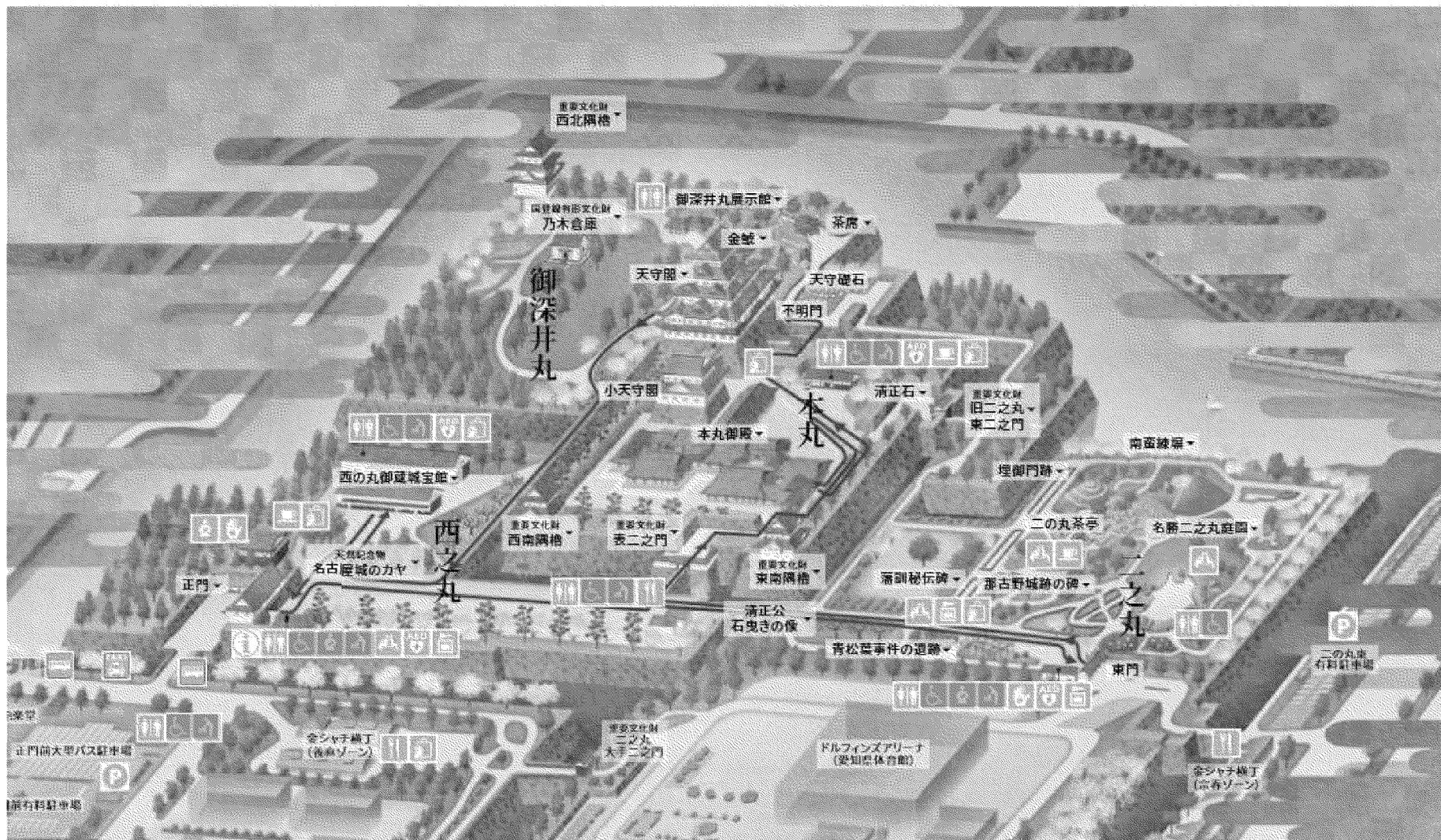
二之間



5階 観覧計画

## 6. 名古屋城内のバリアフリーの現状

名古屋城内では、障がい者用トイレの設置や本丸御殿にスロープを設置するなどバリアフリーに配慮した計画を進めています。城内のバリアフリーの状況を整理し、バリアフリーのルートやトイレを記したマップを作成しています。



← バリアフリーの観覧ルート



バリアフリー対応トイレ